

件名	H30 第 5 回湯梨浜町泊地域小さな拠点検討協議会		
日時	2018 年 11 月 29 日(木)19:00~21:00		
場所	湯梨浜町中央公民館泊分館 2 階大会議室		
出席者 (敬称略)	(委員 8 名)遠藤公章、石沼友、尾川寛信、西田貴頼、澤志任、中尾輝夫、田嶋昭彦、 渡辺由佳 (コーディネーター・C o) 地域活性化伝道師 澤田廉路氏 (オブザーバー) ・ 県中部総合事務所地域振興局 山口リーダー ・ 地域おこし協力隊 辺隊員、鳥山隊員 (事務局) 湯梨浜町役場みらい創造室 遠藤室長、谷岡主事 計 14 名		
決定事項 (合意事項)			
次回までの 調整事項			
配布資料	協議会会議レジュメ、泊地域小さな拠点検討協議会第 5 回会議宿題まとめ		

1. 会長あいさつ

(会長)それでは、皆さん時間も過ぎましたので、小さな拠点検討協議会の方を始めたいと思います。皆さん、年末も近くお忙しい中ご参加いただきありがとうございます。あと今年も残すところ 1 か月になりましたが、なんとか形にしておきたいと思いますので、最後の詰めを皆さんと一緒に、コーディネーターの先生と一緒に作らせていただきたいと思いますので、忌憚のない意見をどんどん言っていただいて、盛り込める所と盛り込めない所も含めて、検討出来たらなと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。それではよろしいでしょうか。

2. 協議内容

(C o) はい、こんばんは、改めまして。役場の方から言われている私の仕事なんですけども、出来たら 12 月中にイメージの画でも描けないかという依頼を事務局から受けてます。3 月には基本設計、来年には実施設計が出来るくらいの基本設計が出来ないかという事を言われてます。という事は、今毎月 1 回ずつやってますけど、12 月という事は、今日、ほぼ方向が出来て、私の方が皆さんの意見をまとめて、イメージの画が出来ないといけないですよ。イメージの画を作って、皆さんにまたお示しして、それをまたたいていただいて、修正をかけてっていう感じにしたいと思っているんです。3 月までには意見を集約した形でどんな施設が出来て、お店があって、あるいは、みんなが集まる場所があって、というようなイメージを、基本設計みたいなものを作りたいと思っています。今のペースで行くと月 1 回ずつくらいなんで、今日プラスもう 1 回くらいで簡単な画が出来て、あと 1 月 2 月 3 月と、今度は実際の運用に関わるような計画を作りつつ、基本設計にもっていきたいと思っていますので、時間の無い中ですが、皆さんに是非ご協力いただいて、いろんな意見を言っていただいて、皆さんの意見を反映したいと思います。今まで出てきたテーマとして、“とまりん場”、これは“とまるん場”っていう誰かの意見が出てたのを前回修正して“とまりん場”になったんですが、そういった名前テーマに沿って、泊まる、食べる、さばく、あと買う、話のできる場、これは役場が考えている考え方とほぼ一緒で、役場機能は支所にあるとしても、皆さんが集まるコミュニティをうまくとりまとめる場、言ってみれば話し合いが出来る場所、とかみんなが交流する場所、というような場所があって、あと食べたり、場合によっては泊まるのは無理でも、食べたり話が出来場所、さばく、あるいは料理をする場所っていう意味かもしれませんし、買うっていう事は物を買う、そこに行けば買い物ができるという場所でもありたいという願ひがあるんで、そう言ったような場所を小さな拠点として作りたいというような方向はほぼ出てきたんで、これは役場の考えている考え方と皆さんの思いが一致してるんで、そういったものをほんとに取りまとめて、具体的にやりたい、前回強みとか、チャンスとか、弱みとか、ピンチとか、いう意見を出していただきました。ここまではいろんなやり方でもやるんですけど、さらにこれを実現するためにはどうしたらいいか、もう少し具体的に、じゃあそのお金をどうするんだとか、どういった人に

参加してもらえばいいのか、あるいはどんなものがあればいいのか、あるいはそれを実現するためにどういう風に情報発信すればいいのか、というような、より実践的な話になるように、実現するために皆さんの意見を出してもらって、ちょっとそこに書いてますけど、4つの方向にいろんな皆さんの意見を分けたいと思います。今まで出てきているやつを言いますと、で、来年実施設計するという事は、実際出来上がるのは、最短ですね、今年3月までに基本設計というイメージを作って、実施設計を来年すると、実施設計をやると大きな変更は出来ませんので、こういう物を作るんだと決めてしまうんですね、で、真ん中の“とまりん場”ってこれ一体何だって事になると、泊ったり、食べたり、さばいたり、買う、買物ができる、話が出来る場、コミュニティね、買物が出来る場所という事で、これを実現するために、どういう人がいればいい、あるいは、どういう物があればいい、そのためには、どういう金を引っ張ってきたらいいか、そんな事を考えて、これをもうちょっと今日煮詰めて、より実現するために皆さんの意見を聞きながら、やってみたいと思っています。資料1のお金の中には例えば、ふるさと納税活用って書いてますけど、これはふるさと納税が使えるんですか？予算的にそれはどうなんですかね。

(事務局) ふるさと納税のクラウドファンディングの関係という辺りではないでしょうか、目的を示して、それで。

(Co) それは、1年で出来ますか？やろうと思ったら出来ますね。

(委員) 仕組みがよく分かってないので、お金が必要なのか、そういうテーマを挙げて。

(Co) テーマを挙げて、テーマに従って食べる所とか作れば、建設費が必要だったり、物品買ったり、いろんなPRするのにお金が要ったりという事があるんで、そういう物をもしやろうと思ったらこの1年に、来年工事にかかるんだったら、工事に取り掛かったら役場がお金を出す、そうですかね？予算要求しないとイケないですよ。

(事務局) そうですね。予算要求はしていかななくてはイケないですね。

(Co) ふるさと納税活用、クラウドファンディングの活用、これは1年、これっていうのは、例えば、こういう事でクラウドファンディングをしますから、寄付していただだけませんかという事なんで、いかに上手にこういう目的のために寄付していただだけませんか、言わないとイケないんです。いかに魅力的に何が必要なんだという事をアピールしないとイケないですね。こういう目的ですので、寄付していただませんか、例えば、それを200万にしたら、200万円達成しなかったら、アウトなんですよ、200万こえればOK。クラウドファンディングをする会社にくらかたられちゃうんですけどね。1年で出来るなら、1年目にしないとイケない、1年目にやって、運営しだして3年目あるいは5年には自活できるようにしようとし、一定の目的をたててしまえば、従っているような計画を入れていく、クラウドファンディングとか寄付金とかね。で、あとこれに合わせて役場の方に地方創生の方の地方再生の交付金、あるいは、この前内閣府の担当者に来てもらったんで、いろんな話をした、農水省の助成金ももしかしたら使えるかもしれない、だったらそういう物は逆に役場の担当者と一緒に、どういう資金をつないで、建物建てるだけじゃなくって、なかにどういう物を入れるとか、そういう事も含んでいく、1年目はクラウドファンディングで、あるいは、3年目までに運用に関係するようなものを、資金を出すお金を考えよう。というような事で、これはこういう格好で、ポストイットを貼っていくんですよ、それで例えばこれだったら、これは実はこれに関係あるんだけど、クラウドファンディングをしようと思ったら、そういう事の出来る人、そういう事が出来る人は一体どういう人がいるのか、そういう事を何かの力を借りながらやると。こういう形で貼っていくんですよ、そうするとこれは実現できると、これはそういう表なんです。で、これをやるって言うと、前にも言いましたけど、智頭町で試しにやったんだけど、ここに書いた事が大体8割以上実現してるんですよ。具体的に書かないと実現しないんです。というような事なので、こっからここまで貼れるようなやつを、例えば、物っていうと農産物だとどういう物を売ればいいのか、あるいはどういう物を利用すれば。特産品の開発、これは1年じゃ出来ないな、弁当の自販機これすごくいいアイデアですね、これ出したの誰です？弁当の自販機、思いは？

(委員) 卵の自販機って知ってますか？お金を入れて、ガチャんとロックを解除して、こっから引き出して、ああいうイメージで、独居の方が多いので。

(Co) お金を入れて自分の好きな弁当をとればいい。

(委員) ですね。そしたら、道の駅とかがないので、ライダー、ツーリングドライバーなんか、立ち寄って買ってもいいし、村の人が弁当、独居の人もいいんじゃないかと。

(Co) 人が要らないから人件費もかからないし。

(委員) だし、24時間できるとか、ほんとはカップ麺なんかの自販機おいたら、面白いかなと。

- (C o) これはいいアイデアですね。これ 1 年で出来ます？3 年くらいでいきます？だいたいいいです。まあ、希望的な観測でもいい。
- (委員) 話題性を考えたら早い方がいい。
- (C o) 1 年？3 年？
- (委員) 1 年。
- (C o) すごいな。誰もが出店販売できる機能、これは全体の話だな。じゃあどんな人が出来るんですかね？コーディネーター的人材、今この中でもお手伝いしてやろうという人はいませんか？みんな関わる訳だ、このメンバーは。SNS で発信できる人、出来る人、あるいは出来る人を知ってる人、今言ったような事を、例えば、養殖ヒラメがありますよとか、特産物がありますよとか、ここに珍しい自販機がありますよとか、そういうような事、弁当が自販機で買えますよ、みたいな話は、言いたしたら食品衛生法の問題があるかもしれない、でも、そんなんは置いて、アイデアが欲しいので。あと、日中時間の作れる子育て中の主婦、主婦がこういう運営に関する、働けるボランティアの募集、食事のみ提供、こういう人を募れますか？1 年で？来年にこういう施設が出来て、施設が出来ると同時にこういう事したいって、もうやる人いませんかっていう話は、来年設計している途中に考えないといけない、すぐでなくていいんだけど、僕は鹿野に空き家を使って、食べる所がないから、空き家を使って食べる場所を作ろうって話をした時に、なかなか手が上がらなかったんだけど、地元の婦人会で料理の好きな人たちが集まって作ったんですよ、1 年目はボランティアでやって、3 年目には黒字になりました。みんなが自分の家にある小さい皿とか、蔵にあるような皿を小さい皿をいっぱい集めてきて、鹿野笠が名物なんで、鹿野笠を逆さにして、小さい皿一杯にそれを入れて、そこにおかずを入れてやるという、それが今 1,000 円くらいなんです。どんどんすごい広がった、だから、周囲がそういう事をしだす、いきなりじゃなくて 1 年くらいかけて、じゃあ我々もやりますって、いきなりでなくてもいいので、来年、実施設計、工事しているときにそういう人たちを募って、そういう施設が出来上がって、そういう食堂なんかが出来上がった時には、一緒にやりませんかと言うようなそういう活動にしたらどうかと思うんです。どうですか？女性陣は？できますか？
- (委員) 高齢者をお願いしたら。
- (C o) 高齢者も元気になるんですよ、ほんとに。発信できる人、これも 1 年で出来る、あと、グラウンド・ゴルフの愛好家って書いてあるんですけども、研修会で泊で良くグラウンド・ゴルフをしてたんだけど、あそこ今中止してるんだよね、あの、料理出すところ、なんかね、中止してるんだったら、それがメインなのに出来んわ、辞めたってことになった、グラウンド・ゴルフは出来るかもしれないけど、あとで懇親会が出来なくなってそれ辞めたって事になったんだけど、本当はそういう物が出来る人がいた方がいい。大規模ないとこ煮会の開催、これ誰ですか、誰が、いとこ煮。
- (委員) 泊 1 区だけだったからそれを泊区内でって、やったらどうかなって。
- (C o) それはいい案だ、それは、来年できる、ここの高齢者の話と同じで、運営するまでにそういう企画をして、こういう施設が出来たら、こういう交流をして、いとこ煮の交流会をする、そういうイメージで良いんですかね。こういう事をやったら活性化するというイメージで。
- (委員) なんか仕掛けがあった方が。
- (C o) いいね。これは 3 年でいいですか、1 年でいいですか？あるいは 5 年。
- (委員) 来月 16 日に泊 1 区で。
- (C o) やってるの？そんな事、実際？
- (委員) やりますよ、公民館事業で。
- (C o) それは、この場でそういう物をやろうっていうのが出てますので、出来上がったなら是非やってください。
- (委員) 年末、冬至の時期に、かぼちゃや小豆で。
- (委員) 1 年目は盛り沢山なので。
- (C o) 3 年くらい、3 年。
- (委員) ですかね。
- (C o) さっきの続きで、SNS を活用して、さっきありましたけど、これは出来る人を発掘する、人と情報・交流の間ぐらいかな、あと 1 年目にできそうな事ありますか、あと、テナントの活用とかなんですけど、コンビニとかなんとかいろんなやり取りというのは？向こうがまだ結論出てないですか？
- (会長) 出てないですね。

- (C o) 3 年、3 年先。
(会長) いえ、そこまで考えてないです。
(C o) 3 年以内に出来る？
(会長) 来年がおそらく結論が出る年だと思います。
(C o) こんなことをやってますから、出てきてくださいと、ここです、こういう活動が出来たら、その気になってくるんですよ。泊まる所って出来ますかね？それはちょっと無理？この前シャワーぐらいつけるって。
(会長) 泊まる場所は、海の駅協議会の方で、ゲストハウス。
(C o) 空き家でゲストハウス？
(会長) ゲストハウスの方向も出していますので、そこはそっちに、まかせたらいいのかなと思いますけどね。
(C o) ゲストハウス作った時にね、そこで食べるのもいいけど、ゲストハウスは寝るだけにして、食べるのはここにきて食べるって。
(会長) そういう事です。
(C o) あと農家民泊なんかがある時も、お風呂に困る時がある、農家民泊は 5 人も 6 人も男女が別々で、お風呂にいっぱいに入れないといけなくて、どっかお風呂に入れるところがあれば非常にいいんで。こうやって計画を作っていくって、さばくってというのは、食品を加工するっていう意味だったですかね？
(会長) そうですね、お魚をもって帰っても高齢者出来ないんで、捌いて出すだけでも。
(C o) それもおばあちゃんの活用かな？高齢者の活用？
(会長) いや、そこは、高齢者ができないので捌くことをするので。
(C o) 料理、細かく捌く、加工だ。
(会長) まあ、魚を捌ける人っていう事で。
(C o) グラウンド・ゴルフ記念館、これ誰？
(委員) 何が一番パツとしたイメージが湧かって言ったら泊はグラウンド・ゴルフっていう繋がりがあるので、というのが、グラウンド・ゴルフって泊村っていうちっちゃな村で、全国規模まで発展したのはどうしてなのかなと思って、やっぱりこうなんかいろいろと戦略が良かったのか、なんでだろうなあと思って。
(C o) グラウンド・ゴルフのそれは、なんでだろうなあっていうのが分かる物を展示する場所っていう事？どういう意味？
(委員) 愛好家もね、レクリエーションというか代表的スポーツになってきてますし、記念館を。
(C o) 記念館風な施設の意味合いを持ったらいいい？出したらどうかと解釈したらいい？
(委員) もちろん、プレー機能もあった方がいいでしょうし。
(C o) 写真があったり、年表みたいな物があったり、グラウンド・ゴルフのクラブとか道具とかちょっと置いたりとか、そういう場所があればいいっていう事ですね。
(委員) そこまでいかどうかは分かりませんがね。
(会長) まあでも、潮風の丘のあそこのハウスがそういう機能を持つとるといえば持つとる。販売もしてる。いついつ出来てっていう年表みたいなのも飾ってあったりとか。
(C o) 二重になっても構わんし。売れたらそこで売ってもらって構わんし。詳しくは資料館にお尋ねくださいって案内してもいいし。さっきも言いましたけど、グラウンド・ゴルフの大会をやったのに、出来なかったっていうのはお金が落ちんかったという事です。60 人規模でやろうとした。全部中止になった。それはもったいない話なんで。ゲストハウスって空き家を？
(会長) 空き家を活用してという事で今。
(C o) 泊美人、泊漬けてすぐ売れる？
(委員) 泊美人はスイカなので、期間限定になります。泊漬は、年がら年中あります。
(C o) それは売ろうと思ったら、売れますね。
(委員) 今でも売れます。
(C o) 今でも？1 年以内に。
(委員) はい。JA の方に協力を求めたら、是非売らせてくださいっていう。それであと野菜類なんかは、直売所から、持ってくるっていう。
(C o) 野菜。直売所。
(委員) 持ってきたらどうって私が提案したら、もうそれも是非やらせてください、っていうので。

- (C o) それは心強いな。
- (委員) 直売所にある物だったら、例えば、数量は少なくとも品数を揃える事が出来る格好になりますね。
- (C o) だから、これは、1 年以内に計画を立てて、入れ物が出来たら、毎月こういう物が要るって言える訳だ。
- (委員) 毎日でも。
- (C o) だから、運営計画の中で、ねえ。泊の特徴ある産物なので、それはそれでいいんじゃないかと。いいですね。
- (委員) 特に農産物っていうか野菜類は、ここのおじいちゃん、おばあちゃん方も、どっかに買いに行く事がなかなか出来ないと、スーパーになかなか出来ない、バス使って行かなきゃいけないっていう場合に、乳母車でも押しながらでも、来れる範囲内だったらいいのかなあと。
- (C o) いいですね、これはいいですね。野菜があって、魚があれば OK じゃないですか。
- (委員) おそらく、あとは肉も入ってきますし。
- (C o) あとこれも、さっき言った、東郷の所(ゆるりん館)に行ったら、大山鶏の定食があったり、卵と、なんで卵と大山鶏なんだって思ったけど。まあ、野菜があって、魚があって、肉もあって卵があればいいかな、出来ますね。
- (委員) あの、欲を言えばスイーツが。
- (C o) あっ、スイーツ、女性はスイーツが欲しい？泊のスイーツって私はよく分かりませんが。だから、こういう物を野菜を、スイーツをいれれば、品揃えが出来てきたじゃないですか。これだけ揃えば人来るかもしれませんよ。泊だけじゃなく、このまわりからでも。大分出来てきた。それとイベントをどうするか、カードバトル大会、これなんですか？
- (委員) 市販のお茶漬とかにカードが入ってるんです。例えばキャラメルとか、ああいうのにマニアとかって、カードとか集めてたりして、自慢したい人もいるんじゃないかなって。自慢するものを見せびらかす会を作ったら、マニアがくるのかなって。
- (C o) それって出来上った施設で出来るのかなあ？その交流スペースで自慢大会やる？
- (委員) まあ、思いつきで言ったんで。
- (C o) 思いつきが大事なんだから、これ面白いよ。
- (委員) 公民館の下にも展示コーナーがあるんですけど、あまり来てない、来てるかどうか分かんないんで。
- (C o) でも、愛好家は来るんじゃない？
- (委員) マニア心をくすぐるような人に来てほしい。
- (C o) マニアをくすぐるって書いといて。3 年くらいに。
- (ワザンバー) すいません、これって、ひとつの施設の話じゃないですよ、何とかの。
- (C o) あー、それも話をしないといけない、今とりあえず最低 2 か所だと思って、2 か所。
- (ワザンバー) 2 か所で何を？両方の話をしている？
- (C o) 1 つにするか 2 つにするかはまた。
- (ワザンバー) 役場の機能の話とかは全部無しで、娯楽的な所だけの話をしている？
- (C o) 僕が依頼を受けているのは、役場の機能は必要があるんだけど、とりあえず、公民館的なコミュニティ機能と買い物が出来たら、食べる、2 つの機能、そう考えると 2 か所に分かれる、それを引付けて 1 か所でやるかもしれない。イメージとしては 2 つにするか 1 つにするか、中身見てもから判断することになりますね、言ったら 2 つに今の所、やりたいことがあるのなら 2 つ。
- (ワザンバー) 役場の機能とは別に 1 か所という事ですよ、役場と？何かと？
- (C o) コミュニティ、みんなが集まる場所と買い物が出来たり、食べたりするような場所。
- (ワザンバー) 全体の話ですか？
- (C o) うん、全体の話。役場の機能の話で言ったら支所があるので、役場の機能としては支所で良いと、コミュニティの関係の人が集まる場所を中心とするのか、買い物を中心とした 2 つにわかれるのかなあと私は思ってますし、役場の方もそういうイメージだ、どうなんでしょうかね？
- (事務局) そうですね、例えば支所の方でコンビニの場所が設けられるんだったら、ひとつの案でしょうし、今言われたように買い物機能とコミュニティでどの程度が出来るのか分からないですけど、2 案くらい出来てくるのかなあって。
- (C o) 今出てきたものを実現するためには、2 つあった方がいいのか、まとめて 1 つでいいのかって事は、どういう事が必要だっていう場所で、内容によって違ってくる可能性があるなあとと思っ

- て。泊としては何が一番欲しいのか、何が必要なのかっていう事が一番大事。
- (ワザバー) これ、学習するスペースもいるよねっていう話だったんですけど、これもまだ全く出てないですよ。
- (C o) 勉強する場。
- (ワザバー) 塾が遠くって、倉吉まで連れて行かないといけないからって言う話があったので。
- (C o) 学習する場、それは最初から欲しい?3年くらい以内で良い?
- (ワザバー) 分からないですけど、最初からあればなお良しなんでしょうけど。
- (C o) これは倉吉なんか最近あるんですけど、高齢者が集まって、逆に高齢者が子どもらの勉強を教える、小学生くらいだったら勉強見ることが出来る。そういう場があったりするんですよ。そういう場があった方がいい?
- (ワザバー) 今全体で見てるものを広げてみる。
- (C o) 後できゅっと狭める。
- (会長) 協議会の多分メンバー、僕だけではないと思うんですけど、ほぼほぼ1ヶ所の中に収めたいなという気持ちではおったんですけど。
- (C o) 1つの場所で出来る、同じことだけしてるんじゃないで、今日はこれ、明日はこれとか、そういう事も可能なんで、とにかくやりたいことを、どうやったらそれが実現できるか、考えればいいんで、そこでやりたい事。そういうのを出していって。大事な視点ですよ、それは、ありがとうございます。
- (委員) スペース的には、どのくらいの物をイメージしてるか分からないと、例えば野菜にはこれだけのスペースがいるだとか、どこまでも詰め込んでいいのか、見えてこんで、言うのはいいけど、実際全部出来るわけない。
- (事務局) 8割って言われてたんで、出来ない事は捨てていくというか。
- (委員) だからどれくらいの平屋とかを計画しとるのか、3階建のビルを計画しとるって言うのが分からんと。
- (C o) それは大事な話ですけど、例えば、東郷に新しく出来たゆるりん館、あれをイメージしてもらって、似たような規模か、あるいはマックスでもあれくらいのイメージじゃないですか。
- (事務局) 委員の皆さんの提案書につけさせていただいた図面をみなさん覚えてらっしゃると思うんですけど、提案書の中の広さでいうと、今の泊支所のスペース1階、もしくは2階まで。で、もう一つの検討地は、漁港内で、コンビニ程度のお店っていう案も出ています。農林水産省の土地があるんですけど、あそこは前任の人に調べて貰ったらハードルが高いから、っていう事で、委員のみなさんの順位は落ちてるかなと、なので、委員のみなさんから出ている優先順位を言わせていただくと、泊支所のスペース。
- (C o) それは1階?2階?
- (事務局) まあ、いけても2階までというイメージです。
- (会長) ただ、支所の機能を残すって事になれば。
- (事務局) そこに支所が自動的に。
- (委員) だからスペース的にはほとんどないよね、食べる所を作ろうとしたら、それなりのスペース、それだけで、今の泊支所の2階分くらいとっちゃうが。
- (事務局) ただし、委員のみなさんから出ている意見としては、支所の機能って実際住民票の交付だとか、何か受け付けるという程度ですので、今の支所の支所としてのスペースはそこまで要らないんじゃないかっていう意見をいただいています。もっとそこを行政のエリアを小さくして、その余ったスペース、1階だけでもかなり、余ると思うので、そこをコミュニティスペースにしたりですか、っていう話はいただいています。
- (会長) 現実的な所で行くともう、車の駐車スペースとか、今の支所の機能をあそこで使える、あのままでいいがっていう事になれば、あそこにプラス増築っていうのは、なかなか難しいので、まあ港の辺、検討地の、あそこのスペースが一番。
- (C o) あそこはどの位の広さ。
- (事務局) 700平米弱。
- (C o) 全部使えるわけじゃないだろうけど、そんなイメージですよ。
- (事務局) 当初はですので、泊支所の部分、今は消えましたけど、周りの民地も巻き込んで、大きな1つ建ててはどうかという話もあったが。
- (会長) 建てなおしちゃおうかっていうのがあったんですけどね。

- (事務局) 最終的には改修でっていう事になったんで、今の建物の大きさは維持ということです。そこに 3 つ入れるのは難しいね、っていうのが最終的な。ですので、検討地と支所の部分で、役割分担をしてそこをひとつのエリアとして考えたらどうだっていうのが第一候補っていう形。
- (会長) そうですね、だと思えます。
- (C o) ありがとうございます。そういうようなイメージだそうです、いいですか。
- (委員) 新たに、検討地の場所に建てるのは、今の話だと売店機能だけになる可能性もあるっていうことですね。
- (C o) だから、売店機能といいつつも、食べる場所だったり。
- (委員) 食べる場所は、他の店舗が近くにあるので、そこが代用、オープンしたばかりだし、っていう話でなかった。
- (会長) でも、食べるっていうのは、買い物機能から買った物をそこで食べれたらいいっていう程度のスペース。
- (委員) ああ、イートインスペース。
- (事務局) あと、コンビニ程度っていう意見が最初からあったので、単純なコンビニだったら今の検討地のスペース丸ごと全部使わないと無理ですよ、でプラス直売所っていうと若干たさなきゃいけないっていうイメージがあるので、あそこに入れるとすれば、買い物機能、コンビニ程度プラス直売所、あるいはさっき言われた交流スペース、それ程度くらいかなと、ただあの大きさのままでは無理なので、例えば横の公園ですとか前後のスペースを使うっていう必要が出てくる。
- (会長) 道路からひとつの敷地にしたらどうかって。その方が広くて使えるんじゃないのかな。
- (委員) じゃあ、検討地の位置には、例えば泊 3 区から 5 区の区の集会っていうのは難しくなってくるんですね。
- (事務局) 聞いてみたんですけど、あそこに 3 区から 5 区の交流、漁村センターみたいなイメージですよ、があるのがいいのか、もしくは支所の方にあるのがいいのか距離的にはどっちがいいんでしょうか。
- (委員) それは 3 区から 5 区の要望を聞かないけんと思います。ニーズを。
- (事務局) 純粋な距離だけ、単純に杓子定規に支所の方がおそらく近いと思います。って考えると支所の方に、コミュニティスペースが、ある程度広さのある、スペースがあった方がいいのかどうかってところですね。
- (会長) さっきコンビニがっていう話が出たんですけど、店舗をほんとにするってなった時に、なかなか普通の商店をして成り立っていくかなあっていう心配があつとって、まあ成り立たなかったからみんな無くなっていったんだけど、やっぱり商店とは色が変わるようなそれも有名なコンビニとかが来てくれないと店として成り立っていくのじゃないかなあっていう気がして、それでコンビニの話が出るとですけど、コンビニだったらグラウンド・ゴルフに上がる人でも、途中で寄ってって弁当とか買わなかって、なかなか他の店だと継続するのえらいかなあって気がして。
- (委員) コンビニとかって特産品とか取り扱ってくれるものだろうか。
- (委員) 出来ると思いますけど。
- (ワザバー) 色々されてるんで。
- (委員) 泊地区の特産品を入れることも可能?
- (ワザバー) 横に。
- (会長) そういう施設作って、その中に入居してもらうような、例えば今度倉吉に新しいコンビニが出来るんですけど、駅ビルに入るとか、1 個の店舗を作るっていうよりは、そういう施設用意するから入居してもらえんかっていう、その方がやりやすいかなって。
- (委員) 僕は商工会の代表で出てるので、さっき泊漬けを売ればいいのか、肉を売ればいいのかあったんですが、今既に既存の商店で、泊漬けを売ってます、うちもそうですけど、笑いごとではなくて、精肉店、そこに競合するのは間違いない、近いところですからね、そのことは無視して考えるのか、っていうのがありまして。
- (委員) その精肉店の肉をおいてもらうとか?
- (委員) そういう形ならいいですけど。
- (委員) 泊を活性化しようと思ったら泊にある物を使って、今ある店をね、使うような方向で。
- (委員) よく分からないのが、直売所とコンビニが合体している。
- (会長) 建物がね。
- (C o) すいません、だからそういう物が出来た時に、競合するんじゃないかって心配もあつたけど、

- 逆に地元の人が入ってくれるのは、可能な話ですよ。それは分かんない？テナント料か？
- (委員) 卸す、テナントとしてですか？テナントとしては難しいと思います、商品卸すことは可能ですけど。
- (会長) もう既に構えてますからね。
- (委員) まずゆるりん館の形であるとか、コンビニとかになったら、間違いなくさっき委員さんがおっしゃったけど、農協から直に入れるとかになって、結局地元の商店を使う事が無くなってしまうと思うですね。
- (C o) そこが難しいんだ。
- (委員) 今度は多分制限かけてくると思います。
- (C o) それはまあ運営の話だから。でも、どういう所でどういう物を扱いたいかという事は大事なことで。地域のためには。
- (委員) まあ、今の食料品店も、何年後かっていう事は考えておられると思いますし、地元の商店もこの協議会 2 年前から始まって、ずっと気にしとんなくて、近くにそのミニスーパー、結構気にして、その協議会のつど報告はしとるですが。
- (委員) 自分の家の商売に関係することだから。でも、それも考えて、一緒になって、お互いが WIN・WIN の関係で、両立できれば一番いいんだけど。
- (委員) 今商店が廃らんようにするなら、そこにない物を、影響をね、考えんといけんね。
- (委員) むしろ、コンビニの方が、やっぱり地元で出資した企業っていうのは、地元で売れるものを売ろうとするので、泊漬けであったり地元の商店、今生き残ってる商店で売れるものを売るので、やっぱり競合が激しくなる、まだ全国チェーンのコンビニの方がまだ共存できるのかなあって僕は思っています。
- (委員) 同じものを売ってっていうのはいけんってことですね。
- (委員) ただ、まあ、泊のお客さんだけでは、コンビニも成り立たんと思うです。外からお客さん呼んでこんとね。
- (C o) 外からお客さんを呼ぼうと思ったら何を売ればいい？外のお客さん来ると思いませんか？
- (委員) 何を売ればっていうか、大手のコンビニだったら地元の若い人も戻ってそこで消費は少しは、少しはというかなんかの部分、若い人お酒買える所がないとか、たばこ売るところが少ないだとか、っていう話を良く聞くんで、コンビニがあるだけで、大分生活は楽にはなると思っています。
- (委員) 考えますに、ネームバリューによって人を呼ぶっていう事になると、コンビニ側もやたらめったなところには出店しないと思います。
- (C o) それは、そうです、それか事前に話を。
- (委員) やっぱり例えば山陰道を降りたところと 9 号線との交差点のあたりだったらひょっとしたら動いてくれる分からないけど、港の辺りになるとまず、人の動きがないっていう形になる。
- (会長) そこはね、調整してるんですけど、言い方としては可能性は 0 ではないですよ、っていう事、一応、話はね。何を売ったら人が来るかっていう事になるんですけど、何回も言いますが、海の駅協議会っていうのはどっちかっていうと、どうやったら、このエリア、泊に来てくれるかっていう事を今一生懸命やっていて、例えば漁協の定置網を見に行き帰って魚を食べる仕組みを取組んでいこうとか、サーフショップも入ってあそこで教室したりとか、まず、人に来てもらう事についてしとって、どっちかっていうと外向きに、泊に来てもらうをやりよって、それとここが一緒になっていかんと、そういう事で来てくれる人が買えるみたいな店にしとかんといけんかなあという所で。
- (委員) そういう前提でしたら、例えば泊新港の辺りに生簀みたいなものを作って、そこで魚を釣るような格好にして、それをバーベキュー的な料理して、そこで食べてもらって、調味料とか必要なものをその店舗で購入していただくとか、そういうような格好だったら、家族連れだとか、入るんじゃないかな。
- (会長) 事何が出来かかって事をあつめていて、地元の醤油店さんところも見学を兼ねて、新鮮な白いかを刺身にしてそこで食べてみてもらうとか、そんなこともやってみようかといういろいろやとって、前からいっとるんですけど、1 回どっかで合流せないけんなど、多分そっちの方に行ってる話もたくさんあって、なかなか収拾つかなくなったらいけんので、そっちの話も聞きながらした方がいいのかなと。
- (委員) ですね、そこで地元の物をいかに活用できるかという事を考えていかんといけんですね。
- (会長) 店も泊から歩いていけるっていうか限られたエリアの人数だけじゃあ、とても経営的にはえら

- いと思うんですよ、どれだけ外から来てもらった人にも利用してもらえるかも考えていかんといけんかなあって。
- (委員) どこだかいんな事やっとして、人を呼んだっていう報道をどっかで聞いた。
- (C o) 八頭町の店舗ですか。
- (委員) 明日行きますけど。
- (C o) まあ見てきてください、なんでこんな山奥にこんなに車が来るのか、びっくりしますよ。山の奥の方に急にバーンとひらけてきて、車がいっぱい停まってる、なんで、なんでって。わざわざ行くんですか、そこに？後学のために？
- (委員) 明日勉強してきます。
- (C o) だから、逆にそういう路線でいくのか、そういう路線で行くんだったら、さっきの定置網の新鮮な魚とか、そういう物が、用意できて食べれるって言う所がそれに近い、ここの強さだったらね、八頭町の店舗は卵、いまだれ卵を売りにして、1 個何百円で、売ってますからね。見てきてください。
- (委員) 兵庫県の水族館で、生簀で釣った小鰻をその場で天ぷらにしてくれるっていうのは、時化の日でも全然いけて、楽しかったんです。ここでも釣るんですけど、子どもがわあわあ言っていて、ああ良かったなあって。
- (C o) その場で料理が出来る？それは。
- (委員) してくれなる。自分で釣ったのを。
- (C o) さっき言った捌ける場所があって、バーベキュー出来る場所があれば出来る。ね、そういう事ですよ。そういう場所を作ればいい、食べ物にはキャパが決まっているので、プラス屋外でやる。
- (委員) 兵庫県の水族館もこの泊の所も海と繋がっているんで、魚も普通に、養殖とかじゃなくて、囲えばおるといふ。
- (C o) それはいいヒントですね。みなさん、今イメージを、私のイメージをあれしよるんですけど、今その場で食べられる、バーベキューが出来る、それは建物の外にオープンテラスみたいなのを作って、そこでバーベキューできたり、釣った魚を捌いてもらう場所があって、だから、調味料買ったり、あるいは他のものを一緒に買って食べるとか、あれば良いなあという事でそれは建物の機能としてというより全体の外のオープンテラスでやるとか、どういう事をやるかっていう事で、考えればいいんじゃないかなあと思ってますけど。
- (会長) まあそこはまた別で、後程考えていけばいい話。
- (C o) また別で、そういう事が出来る場所で、とまりん場はあるんだ。ちょっと検討地の話が出てますが、誰かわかる範囲で、それは食べる場所が同じ場所で出来るのか。
- (会長) あの建物は今、捌いて出すことは出来ます、営業許可は取ってます。
- (C o) エリアは違うんですか？
- (会長) 同じです。
- (C o) 同じとこですよ。同じエリアですよ。だから、検討地はこういう事が出来る場所だったら、そこは役割分担すればいい。
- (会長) 利活用したらいい。
- (C o) という事ですよ。そういう機能はそっちに持っていつてもらって、そういう場所があれば何となく出来そうな。
- (事務局) 物足りなかったら、地元の飲食店に行っておけばいいから。
- (C o) あと学習する場っていう話がありましたけど、子どもがそこに来て勉強する場っていうイメージですか？
- (ワザバー) そういう子たちが来るのと、泊 3~5 区の方の集会所。
- (会長) 勉強する場って僕が言っただけで、学習塾がこの地区にないので、それでみんなが倉吉の方にせかせと送ってるんで、そういう場所があれば良いなっていう事で、ただ、この機能の中に入れるか入れないかは別として、そういう場所が、空き家探してでもあったら良いかなって。
- (C o) 了解。場所があれば、ある程度出来て、じゃあ、今度誰が教えるのかなって、そういう人はいますかね？
- (委員) 元先生で。
- (C o) 元先生がいる。
- (委員) 羽合地域の方なんですけど、普通にこういうの言うだけなら、今は知らないですけど。
- (C o) 逆に言うと具体的な人がいる方が実現するんですよ。

- (委員) 一昨年まで、先生やられた方が、自宅で塾したんですけど、とりあえず、別の貸しスペースで、教えていた時があったんですよ。その先生今多分自宅でしていると思うんですけど。
- (C o) その先生に 1 週間に 2 回か 3 回、来てねって言えばいい。
- (委員) 貸しスペースっていうか、交流スペース。
- (C o) 子どもたちもみんなそこに集まってるんだったら、何曜日は先生が来るから、集まってね、と。
- (委員) 勝手にその先生の事言っちゃったんですけど。他にもいるかもしれない。
- (C o) 全然いい。
- (委員) この前、泊地域で退職された校長先生やとられてた方がいらっしゃいますね、例えばそういう方に打診するとか、学校の先生って泊地区内でもたくさんおられると思うんで、そういう方々に、ボランティアならボランティアで打診はしないといけないが、そういう方々にいわゆるシルバー人材じゃあないですけど、生きがいを持ってもらうためにも、いいじゃないかなあと。
- (C o) そうすると、寺小屋の塾みたいに、机が何台か並んで、勉強できるスペースが必要だと、それは集会所にも使えるし、という事だと思います。だから、そういう場所が必要だと。
- (委員) 例えば商工会の空いてる建物なんかは、使ったらだめなんですか？
- (委員) 営業としては貸せれない、ただ、ボランティアで無償だったら、OK だと思います。
- (委員) 良いスペースがあるなあって、ふと思ったんですけどね、寝とるだけなら、なんか物置になってるみたいだけど。
- (委員) 物置になってるんです。倉庫としてしか使ってないので。
- (C o) あと今の話でこういう事をしようと思ったら、みなさんお金出せますかねえ？塾行こうという事になるといくらかお金出すと思うんだけど、地域としては、どうなんですかねえ。
- (会長) 塾に子どもを通わず親は出すんじゃないですかね、無料のところないですから。
- (C o) そうすると、場所代をとれば、運営費に。大分出てきたんで、これを全部やろうとしたら大変な話なんで、だから、勉強するのと集会所が同じ場所だとか、あるいはバーベキューが出来る場所とか、物を売る、物については地元の人が協議しないといけないんだけど、そういう場を作ろうと思ったら、それなりのスペースがいる、700 平米の中に入れようと思ったら入れられるけど、こういうのは曜日を決めてやればいい、毎日しなくてもいい。こういう機能を入れたスペースがあれば良いって事ですよ、私のイメージの中にそういう画を描かないといけないので。12 月中に出してくれて言われてるんで。あとはグラウンド・ゴルフ記念館みたいな話があったけどそれは、こういうスペースにちょこっとあれば良いんですかね。どうですか、その辺。
- (委員) 潮風の丘の方に併設してもいいでしょうし、なんか発祥地として象徴的なものっていう意味で、思いついただけなんで、ここの機能に入れれないといけない訳ではない。
- (C o) でも、なんかあった方がいいかもしれない。写真ぐらいあってもいいだろうし、物を売る、ここにそういうクラブがくるかもしれない。
- (委員) まあ、横に広場があるので、道具を置いといたら自由に使って下さいって。
- (C o) バーベキューする横で、こんなんしてもいいんだ。だから、そういうオープンスペース、建物の外にテラスがあって、バーベキューも出来るし、その横には芝生があって。
- (委員) 町内の公園にも、そういう遊び場みたいなものがあると思うんですけど、何かみんな作れちゃうんで、そういう簡単に作れるのがグラウンド・ゴルフじゃないですか、だから例えばコースが 200 メートルくらいあって、必ず 1 打では入らない、ちょっと、突拍子のない。
- (C o) だから、こういうの作って、実際作り出したら、アイデアをプラスしてもらって。ちょっとは見えてきましたけど。
- (委員) たとえば、何かの目玉商品、目玉の企画とか目玉商品的なものがあって、それに参加していただく、ただでグラウンド・ゴルフのコース回れますよっていうのはどうでしょう。
- (C o) 上も下もですね。
- (委員) そうすると、その期間だけでも、グラウンド・ゴルフは子どもでも出来るもんでね、親子連れで来てもらえることも出来るんじゃないかな。一瞬思ったんですけど。
- (C o) ここに 10 回、あるいは 5 回来てもらったら、上で出来るとか。
- (委員) ただで。
- (C o) 運営のやり方ですよ。
- (委員) そういうような事もくっつけてやっていただけたら、いいのかなあとと思ったんですけど。
- (C o) それは施設というより、運営で、グラウンド・ゴルフのポイント制度。3 年後とか実際動きだしてから考えたらいい。今日の目的はこういうのをある程度含めていきたいなとも思うんですけど、

- だいたい今の話で、5 年後には自主運営する時には、そういう物が実現しとって、みんながグラウンド・ゴルフポイントを使って、グラウンド・ゴルフをただで出来る、そういう事に成れば良いのかな。この中で、今グラウンド・ゴルフ愛好家って書いてあるけど、グラウンド・ゴルフの全国大会って年 1 回くらいあるんですかね？
- (委員) 発祥地大会というのは毎年 6 月ごろに。6 月の第 2 週に 2 日間、はい。それが、670、680 名。
- (委員) もっとあるでしょ、子どものとか。
- (委員) 大会は毎月 3~5 つくらい。
- (C o) すごいな。6 月に。
- (委員) 国際大会は？
- (事務局) 5 月ですね。
- (委員) 国際大会もあるし、ジュニアの大会も。
- (事務局) ジュニア大会は 8 月ですね。
- (委員) 8 月の第一土曜日。
- (C o) そうするとそれに向けて、オープンするんだったら、それに向けた時期を狙った方がいいですよ。PR できるね。タイミングが違う。どこにあったかな、情報の・・・。5 年後にはどうなっていたらいいんですかね、人がいっぱい来てればいいですか、どうなんですかね。イメージとして 5 年後、たくさんの方が来て、買い物する場所があったり、食べれる場所があったらいいんですかね、で、毎週何日間かは集まって学習する場があったり、集会所機能もあればいいんですかね、そうなれば御の字？皆さんはどういうイメージだったら 5 年後良いと思いますか。最終的に。とまりん場って言うけど、みんながあそこに集まって、止まり木みたいにみんなが集まって、昼は外から食べに来るかもしれんけど、夜は自分たちが集まって話が出来たり。
- (委員) なんか悲観的な話ですけどね、泊の人口ね、今段々減っていきよりますが、今の話では、ある程度他所のね、そういう客を呼び寄せる様な事業も兼ねて、やるような感じですかね、そのの所がまだちょっと自分としてはなかなか。
- (C o) 人はあんまりこんじゃないかと。
- (委員) うーん、あまり、否定的な話ばかりしてたらいいんですけどね、だけど、こういう何某かの補助金をもらって、箱物を作って、まあこういう話もいいんだけど、もうちょっと煮詰める、あまりにも。
- (C o) それはだから、運営の方法じゃないかな。
- (委員) それは、わかります。
- (C o) だから。月に 1 回グラウンド・ゴルフの大会があるんだから、毎月 1 回あたり、年に大きいのがあれば、たくさん人が来る。
- (委員) まあ、現実的にああいう大会をしても、なかなかプレイだけで、本当の大会と違ってお金も落ちんだろうしね。
- (C o) それだけ来てもらった人に、ここにこういう物があるんだったら、来月もまた来ようか、なんかになるような仕組みを考える。
- (会長) 今実際に、例えば、海の協議会でやりだして、あの潮風の丘にも入ってもらってるんですよ、今まで「食べる場所がないですか」って言われた時に「ないですよ」っていったのが、新たに店舗ができたり、地元の店舗を紹介するっていう仕組みになって、そこに今お客さんが行きよるっていう実際、そういう取組で、ここに集まってきた人が流れていくっていう事は地域で頑張っていないといけない。年間 4 万 5 千人だったかな、去年、それだけ来てるのに全く消費せずに終わるとるんで、なんかもう少し一団となってお金を落としてもらえるところがあるのに。実際地元の事業所でもパン工房を今年作られて、それでお客さんが下りてくるっていう流れをつくったりしてね。
- (委員) 何を？作られたんですか？
- (会長) パン工房、パン。知らないでしょ、だから情報がみんなに行っていない、ちゃんとみんなで共有したら、消費も増えるんじゃないかなあと。
- (C o) 潮風の丘の集客の集計っていうのは役場が持っている？
- (会長) 持ってます。
- (事務局) 確認すれば。
- (C o) 毎年じゃなくて、何月に何人きたとか、月で分かるもの。
- (会長) あります。
- (C o) そうすると、イベントがあつて、いつ頃来るかって分かれば、企画をして PR する。あとその

- 関係で思い出したことを言うと、私水木しげるロードのいろいろやっていて、例えばあそこは 100 万人になりました、150 万人になりましたってイベントを打つんです。それは集客をもっているという強みを活かして、100 万人何とかイベント、とかなりましたとか、例えば 5 万人になりましたとか、で、毎年 5 万人になりましたとテレビに出たり、なんやかんやする訳なんですよ、ここもそういう感じで潮風の丘のグラウンド・ゴルフ 1 万人、次は何万人とかそういうやり方もある、折角潮風の丘で人が集まっているので、それを利用しないというのはもったいない。ちょっとさっき言った 5 月か 6 月にグラウンド・ゴルフ大会に何万人くらい来るの？
- (委員) 発祥地大会？定員がありまして、680 人くらいです、それが 2 日間。1 泊 2 日で、ほとんど県外の方ですね。
- (C o) 家族があったり。
- (委員) 家族はあんまりないですね、各県の予選を勝ち抜いた人が。
- (C o) うまい人？年代は？
- (委員) 年代は、やっぱり 50 代、60 代、70 代ぐらいが中心だと思います。
- (C o) その年代はお金持ってるみたいな感じ？
- (委員) そうですね。
- (C o) その人たちが家族にお土産とか、何かそういう仕組みは？
- (委員) 多分旅館で使っとんなる。
- (C o) その土地の名産や、美味しい物を買って帰りたいと思うのが、人の常なんで。
- (委員) 大会で、バザーていうか、売店も出て、その時のメロンとかは、よく売れてるみたいですね。
- (委員) 6 月だったら、スイカもあるでしょ？
- (C o) スイカはどうだろう？
- (委員) 泊美人、5 月の終わりからの出荷になってるんでね。7 月までの出荷ですから。
- (委員) 農協さんが担当しとんなるんで、出しとんなるかも。
- (C o) あと大規模ないところ煮会、どういう内容？何人くらいが集まる？
- (委員) 1 区のローカルな行事ですから、はい。
- (委員) でも、この辺お正月のお雑煮ぜんざいですよ。
- (C o) いとこ煮ってこれなんですかね？
- (委員) 冬至の時期に、かぼちゃとか団子とかを小豆と煮て食べる、さつまいもとか入れて。
- (委員) 三徳山の行者が始めた。
- (C o) それは何人くらい集まる？
- (委員) うちの集落では、30、40 人。集落の行事なので、そのくらいです。
- (C o) そんなん集めてくれば、結構いろいろ毎月いろんなイベントがあつて、年間を通して、人がいっぱい来るよ。それは整理してないだけ。
- (委員) それはテント 1 つあれば、作れて、そこに来たお客さんにふるまうというのが出来るくらいのスペースで足りる？
- (委員) 足ると思いますね。
- (C o) それは PR しないといけない、しないと人は来ない。そんなのここに来て初めて聞いた。ニュースになってないでしょ、今まで。
- (委員) 区の行事なので、区以外は PR してないですから。
- (C o) PR しようと思ったら、ニュースになるくらいのイベントに仕上げ、それで引き付ける。
- (委員) 例えば、店舗が出来て、その店舗の駐車場とかで、テント張って作るっていう事も可能？
- (委員) 可能だと思いますね。
- (ワザバー) 島根の邑南町に、こういういとこ煮の伝統料理がありますよね。
- (C o) 知らない、説明してください、知ってる範囲で。
- (ワザバー) 云われは一緒だと思うんですけど、素材は各地でいろいろあるみたいですけど、かぼちゃとそれから小豆、それがいとこ煮という事に引っ付けたみたいで、そういうネーミングがされたみたいです。
- (C o) かぼちゃと小豆がいとこ煮って考えてる訳。は一ん、なるほど。初めて知った。作ればいいんだ、何か。面白い事を。
- (委員) 販売としてですか？ふるまいとしてですか？
- (C o) ふるまいもし、売ればいい。もう 1 つ大きいのは人にきてもらったらいいでしょ、月々いろんなイベントがあれば、その都度人が集まってくるっていう事は、お金が落ちるチャンスだし、知っ

- てもらふチャンスだし、来てもらふチャンスだし。
- (委員) ニュースとか？
- (C o) うん、そういう事をやって、人がいっぱい交流するから、賑やかで、有名になって、楽しい地区になるんですよ。だから、施設だけじゃなくて、施設を考えながら、何をやるかっていう事が運営であったり、この施設が、継続する一つのきっかけになるんで。建物建てて魂入らず、何もしなかったら、作らんでいい。ここで何をやるかが問題なんで、こういう事をやるから、こういう施設が必要なんだっていう方が、建物が生きてくると思うんで、それで、いろんなことを言ってもらってるんです。ちょっと方向見えてきたという気がしますが、何か質問はありませんか？
- (委員) 自分が思うのは、いろんなものがずっと同じ日常的にいつ行っても同じものがあるんじゃないくて、自分が考えるのは例えば、オープンスペース、毎日でもいいし、一週間でもいいし、例えば私今日民芸品が売りたいだとか、雑貨が売りたいだとか、こういう物をどうぞ一週間お貸しします、ここで売ってくださいっていうのがあれば、例えばいとこ煮会にしてもじゃあ、一週間それにしましようというね、そういうスペース的なものを設ければ、いつ行っても違う物が、ずっと同じものもあるけど、例えば今週はこういう物があって、次の週に行ったら別のものがある、っていうスペース的なものが確保できるようなものがあればいいな。
- (C o) それは、まさに場所を提供すればいいっていうことですね。その場所自由に使える、そのためには運営ちゃんとしなないといけないので、そういう物を募集して、何日から何日までこういう事をするという、そういう場所、良いネーミングした方がいいですよ、何かそういう。
- (委員) 倉吉市にある建物は、日替わり店長の人が、その食堂を利用して、定食出したり、魚料理出したり、たしか 3,000 円で、店長になれるスペースを貸して。地元の店舗は固定のメニューかもしれないけど、そこは、作る人自体。
- (委員) 変わって。
- (委員) 知り合いでやるとか。
- (C o) そういう事が出来るスペース、場所があれば良いんで、日中はこういう場所に使って、夜は学習塾なりっていう風に使えるじゃないですか。だから、そういうスペースがいる、そういう事が出来るスペースが、で、夜になったら勉強できる。ああ、やっぱりいろんな良い意見が出てきますね、全部は無理かもしれないけど、大体。今出てきた中で、これは自分でやってもいいっていうの何かあります？あるいは、それは絶対あった方がいいと、自分はやらないけど、あった方がいいと、今の日替わり店長でもいいし。あそこの 2 階、塾してるよ、夜。確か塾してる。そういうイメージだ。で、子ども食堂もしてる。
- (委員) そこでやってるんだ、子ども食堂。
- (C o) 子ども食堂だから、そこで、食べてもらって、夜は勉強するスペースになっている。
- (会長) すいません、ひとつ大事なスペースで、どういう形にせよ、運営する組織が必要なんで、その組織が活動できる、事務局的なスペースはなんとかいただきたいですね。
- (C o) 事務局的なスペース。ちょっとしたスペースがあればいい？
- (委員) 支所の 3 階とかでもいいんじゃないか？
- (C o) でもここにあった方がいいかもしれない。
- (委員) 近いところに？
- (C o) 店番も出来るし、電話番号も出来る。事務局スペースってどこが事務局になる？今の想定では？
- (会長) まだ決めてないですけど、ただそういう組織がないと、運営できんだろうなと。
- (C o) できない、回す人がいるんだろうなあ、コーディネーター的な人材。
- (会長) 回すっていうか、組織がやっぱり必要。
- (C o) 誰かいますか、候補？だからそういうコーディネーター的な事が出来る人材、そういう場所が。だから来年中に決めないけんわ、これは。設計してる間に決めて、その次の年の運営する前に、決めないけん。次の来年、再来年にはこういう事をするんで、例えばこういうイベントいつやるか、そのためにはどういう企画しないといけないのか、考える人が必要ですね。いますか、誰か？みなさん自らやられます？
- (会長) さすがに仕事辞めてそっちにっていう訳にはならんので。
- (委員) 役場はずっと関わっていくか？
- (会長) 関るんでしょね、でもね。
- (委員) 関るんだったら、雇用もあるから、役場で人雇って、事務局の方に人が来る。
- (会長) 地域おこし協力隊みたいな形とか、いろいろある。

- (C o) 協力隊みたいな人？そういう人の給料は少なくとも 3 年間は払えるんで、それ用の協力隊。3 年間だったら、ちょうどスタートで、確か 3 年間だったと。
- (委員) 誰かが給料払わないけんからな。
- (会長) ただですもんおらんからね。
- (C o) なんか、ちょっと方向が出てきましたけど、皆さんの方で。ありませんか。
- (ワザバー) 建物の雰囲気なんかが大事だと思うんですけど。
- (C o) どういう、どういう、まあ、じゃあそれ話しましょうか。和風なのか洋風なのか、まあ言ってみれば。
- (ワザバー) 和風・・・？
- (C o) 木造だったら日本住宅みたいなものとか、あるいはちょっと抑えた洋風の建物がいい？
- (ワザバー) 買い物が入って、コンビニとなると。
- (C o) 聞いたら知り合いだったんだけど、例のゆるりん館。なんかちょっとがっかりされました。
- (事務局) まあ、前は農協の A コープを改修しただけだから。
- (C o) それを改修した？そういうことか、まあスペース的にはそんなスペースだった。泊の風景にあったものにしたい、象徴的なものはありますか？
- (事務局) 検討地をそもそも改修でいくのか、壊して建直すかっていう所もあると思うので。
- (会長) そこもね。
- (事務局) 支所は改修っていう事で方向付けが出たんで、出てますけど。
- (C o) 基本的には平屋で、和風の平屋かなと思ってますけど、予算の都合があれば、前は？
- (事務局) 前は平屋で倉庫みたいな。
- (会長) 平屋でもともと倉庫みたいなもんです。
- (C o) お金がそんなにたくさんかけれる訳じゃないでしょ？予算の事もあるので。
- (事務局) 改修っていうと今の雰囲気がある程度残ります？
- (C o) 残るわなあ、あっ、改修になるの？
- (事務局) まだ分かんないですけど、選択は出来るんですけど。
- (C o) みなさんの方で、イメージありますか？こんな施設だったらいいのに、強烈な泊のイメージって何かありますか？
- (ワザバー) 倉庫。
- (C o) 倉庫？
- (会長) 漁具倉庫？
- (委員) 一番かなあ。
- (委員) 空いとるかいな？漁具倉庫？
- (委員) 使っとられる。
- (委員) でしょ、また、空いてくると思うけど。
- (C o) 漁具倉庫みたいなイメージの建物でいい？
- (ワザバー) そういう訳じゃないけど。
- (C o) イメージがそんな、泊のイメージがね。
- (ワザバー) 泊の雰囲気に、合う方がいい。
- (委員) 漁具倉庫の所なんかいいと思うけどな。ハッキリ言って、目の前に駐車スペースがどば一とあるし。
- (会長) 実際使うとなるとなかなかハードルが高いものがいっぱいある。
- (C o) イメージの話だから、だから、分かりやすい泊って言えば漁具の倉庫、海がある、凝ったものより、お金の事を言えば、境港のあれは卸売、あれはあれで、雰囲気があるっぽいですね、きれいな建物じゃないけど、結構売れてるんだよ、あれが。きれいな建物になる必要はないんで、その雰囲気にあったものをなるべく、漁具倉庫いいですね、構想の魚を捌いたり、物を売ったり食べたりする雰囲気があるかもしれない。発言してない人なんか。
- (会長) 今日休んでいる委員さんが、さっきあのスペースの件で、日替わりのお店が出来たら良いんじゃないかって言っていましたけど。まあ彼は彼で、それに近いんですけど、チャレンジショップみたいなのが入れるようなものが、欲しいのかなって。
- (C o) 日替わり店長みたいな？
- (会長) であったり、チャレンジショップで固定して入る人があるかもしれませんが、まあ、という事を彼は言っていました。

- (C o) ここに書いてあるので大体いいかいなあ。あとは道の駅の成功例をイメージして、どっか良い場所知ってます？成功した事例の。
- (委員) 成功したところのいいとこどりで、やられたらいいんじゃないかと。さっきから聞いてるとテナントとか自分たちで全部やろうとすると大変なので、テナントやチャレンジショップとか、意欲のある方に来てもらってやった方が活気が出ていいのではないかなと。
- (委員) 鳥取市の直売所の解放感があるところ、壁がオープンになるじゃないですか、あれはなんか、いいかなと思ったりして。
- (C o) あそこはイベント場で使ってるんです、あれはね。
- (委員) あと岩美の道の駅、あれは地域と繋がってますよね、鮮魚、魚売り場と野菜とか、前に行ったときは岩美高校のブラスバンド部が発表したりしてた。
- (C o) いいとこどりする。最終的にはいいとこどりして、自活できないといけない、1 年、2 年は仕方ないけど、5 年目になったら、比較的有利になっていたいと思います。
- (委員) リピーターを取り込まないかんといい事ですね。
- (C o) こういふところに行って、年間どの位の人が来て、ある程度、年間の売上何千万とか聞いて、そうすれば、例えば 3 人役いてどのくらいのもので出来るのかという計算が出来る。
- (委員) 季節によつてですけど、冬は特に北からの風がびゅうびゅう吹いて、なかなか人が集まるようなところではない、港の辺りはね、で、それをどういふ風に克服していかを考えると、やっぱり年間を通しての運営を考えていかんと、そこが一番のネックじゃないかなあと思いますね。
- (C o) とつてもいいですね、さっき僕が言つたのは、何月に例えば何人来ているかという事を考えて、人が来ない時にイベントをやるんですよ。この辺で出来そうなことを。例えば、いとこ煮会もいつやるかという、冬至の時にやる、冬至の時は人があまり来ないから。
- (委員) 花回廊のフラワードームってあるじゃないですか、あそこまで大きくなくつてもいいと思うんですけど、なんか、そういう全天候型の温室みたいなところ、そういう感じだったらいいなと思つたんですけど、先日神戸市のどうぶつ園に行つてきたんですけど、温室みたいなところに花が置いてあつたり、動物展という感じで、これ寒い日とか冬や雨の日とか全然いいなあと思つて、山陰って冬場は観光が致命的なので、山陰の風土に合つたようなデザインが欲しいですけど。
- (C o) 今とつても良い事言われました。これねえ、逆に、青森だったか、岩手だったか忘れたけどね、冬が一番寒い時に、雪が横から降るような時にね、そりに乗つて、寒いのを体験するツアーがあるんですよ、2 月頃に。だから日本海の手つていやだなあつて思うでしょ。船も出せれんしつて思うでしょ、そういうのを見ながら、で、寒かつたから、それが終つた後に、ラーメンでも食べると、言うよなことも考えたらいい。
- (委員) そうなつてくるとこは、雪が中途半端。
- (C o) だから、逆に言つると、北風だけでもいい。波が半端じゃないんで、こつちの人はよく見るから、他の人はすごいねつて、それを地元の間人は分からない。
- (委員) 一文字の波止場のところ？
- (C o) だからこれはどういふイベントを組むかによつて、違つてくる。年間を通じてつていふのはとても良いんで、これは冬をどうするかを考えたらいい。
- (委員) ですね、冬を克服できれば多分夏だとかは、海を利用して、かなり人が呼ばれるんじゃないかなあ、と思いますよね。
- (C o) だから、冬はこんなけど、夏に来てみてよつていふ感じ。
- (委員) 海水浴場ができる、港の横にね、砂浜地域なのに。
- (C o) 砂浜でグラウンド・ゴルフは出来ない？
- (委員) 出来んでしょう。
- (委員) 楽しいかもしれません。
- (委員) そういうイベントはイベントで。
- (委員) 突飛なね。楽しいかもしれん、裸足に。
- (C o) 例えの話、そういう事も考えていけばいいでしょ。これは、同時並行的に施設が出来ても、設計中でも何でも、これは次の年度までに考えないといけないんだけど、これを反映できる建物でない。
- (委員) 漁具倉庫つていふのは、多分、僕ちよつと分からんですけど、見たらわかると思うんですけど、自分の中に全くイメージがなくて、提案してくださつたんですけど。
- (オガバー) 普通にあります。

(委員) あるんですか。やっぱり山陰の風土を象徴するような事象っていうか、それが例えば、先々2025年大阪万博とかで、外国人訪日客が、こっちまで足を運んだ時に、ああ、こういうちっちゃな漁村でも、日本らしいなって感じてくれるような先々のデザインだったらいいな。

(C o) 難しいな。そんなデザインが出来たら、一流の建築家で、賞もらってる。山陰の風土にあった建物。

(委員) 鹿野の格子模様も、ひとつの美意識じゃないですか、ああいうのって、すごくいいなあって。

(C o) あれは昔からあるやつで、あそこはテーマが、抜群に似合う町だったんですよ、テーマが、だからテーマってすごく大事なんです。でもイメージ、ちょっといい話がでてきたので、もっと意見を言ってください。先程漁具倉庫の話が出たんだけど、今ヨーロッパで流行ってるのが、造船所跡地、広いでしょ、いっぱい空いてるから、そこにクリエイターっていうか、芸術家が入ってきてそこで好き勝手つくっている、そうすると、いろんな人がスペースで遊んでいるので、いろんな人が世界各国から集まってきて、それで創造都市っていうイメージが出来上がって、彫刻家がきたり、絵描いたりする、漁具じゃないですけど、造船所跡地に、そういうのが今ヨーロッパで流行ってる。要は空き家になったところが、漁具はちょっと違うかもしれないけど、そういうイメージにちょっと近いのかなあと思ったんだけど。建物のイメージ、みなさんにはありませんか？今日は建物のイメージを決めて終わらしましょう。さっき山陰の風土の建物って、山陰の風土の建物のイメージってどんなイメージですか？

(委員) 漁具倉庫っていうのは地元住民としては全く視点がなかったもので、すごい斬新な感じがします。

(C o) 他にはないですか。

(委員) 焼杉とかって違いましたっけ？山陰とは関係ない？

(C o) 焼杉？焼杉って要するに、杉を焼いたやつってこと、板張り。基本的には木造ですよ、イメージだから木造ですよ。

(委員) 鉄骨はやめましょう、あれ、メンテせんと絶対持たないですから。

(C o) 確かに無駄になるな。だったら普通のもので。漁具倉庫が良かったな、他にはありませんか。泊の象徴的な何かありますか？

(オガザバー) 黒瓦。

(C o) 黒瓦、赤瓦じゃなくて、黒瓦。

(オガザバー) 黒が多いですよ、あれ、赤がおおいですか。

(委員) 赤は少ない、黒が多い。

(C o) だから、両方ある、来待石って言うんだけど、これ、黒も赤も全部石州瓦なんです。赤碕が赤瓦ないって知ってる？案外とないんですよ、倉吉は赤瓦あるのに、赤碕にはないんです。

(委員) 魚村ですけど漆喰なんかは関係ないですか。漆喰って分かんないですけど。

(C o) 漆喰って、左官工事で、石灰に混ぜる白いね。例えば赤碕とか光地区。

(委員) 蔵やなんか漆喰できれいだ。

(C o) 良いと事悪い事があって、漆喰はあれなんだけど、釘が打てない、1本も、細工がしづらい。

(委員) なまこ絵は？

(C o) なまこ絵、なまこ壁っていうのは、三角形になってる。これは、左官工事だからお金と時間がかかる。まあ、焼杉の方が早くて安く出来る。ありがとうございます。建物のイメージ言ってもらって。まあ後は実際の建物を良く見て、同じ様な地域のイメージに成れば良いでしょう。

(オガザバー) 改修もあげる？

(C o) もちろん、今のは最初のイメージなんで。あまり地域に合わないようなおしゃれな建物じゃなくて、この辺にある、漁具倉庫じゃないけども、木造のこの地域にあるような建物がいいかなあと思いますけどね。

(オガザバー) 改修やったら、尾道市の複合施設みたいに。

(C o) 尾道。

(オガザバー) 倉庫の中だけおしゃれにする。

(C o) 尾道の倉庫を改修したエリア。

(オガザバー) そうです、中だけ。

(C o) 中だけ、あれは鉄骨ですごいスペースになって。

(オガザバー) 今じゃ鉄骨って駄目ですか。今の検討地にある建物は木造ですか。

(会長) 今は木造。

(C o) まあ、改修するとか、イメージとしてはどういう感じ。改修なんで、どうにでもなるので。あ

りがとうございます。ちょっとこんなんで大変だけど、みなさんの意見をなるべく反映できるようにしますね。また、何かあったら、連絡ください。とりあえず、今日はいいかなと思います。

3. 閉会

(会長) はい。あとはコーディネーターの方に案を作ってください。来月いっぱいですか。

(C o) 今度は私の宿題で、ある程度、こんなイメージの建物を作りたいと思いますけど、ちょっと画を描いて何枚か、意見を言ってもらうための画なんで、完成した物ではなくて、イメージの画を描いて、ちゃんとした設計図じゃなくて、イメージを描いて、意見を言ってもらって、今のやつ全部を入れるのは難しいかもしれんけど、いくつかそんなか入れて画を描きますんで、それをたたき台にたたいてもらったらいいです。

(会長) 分かりました。では、次回は、12 月も後半になるとなかなか日程がとれないので、1 月くらいに、12 月 11 日に海の駅協議会があって、で、1 月くらいにお互いのやってることを情報交換した方がいいんじゃないかと思ってまして、どんなでしょう？ 合同の 1 回たたき台が出てくるのに合わせて、向こうもこんなことやりますっていう事が見えた方が、いいかなと思うんですけど。良いですか、そういう方向で、次の、次回の開催 1 月、あっちもまだ決めてないので。

(C o) 出来れば、1 月の中旬とか、下旬とか。

(会長) 上旬は無理でしょうから、中旬以降ぐらいに考えたいと思います。日程の方はあっちの協議会と協議させていただいて、また、連絡させて頂こうと思いますので、よろしく願いいたします。どうもお疲れ様でした。